

第42回日本死の臨床研究会年次大会プレ企画

ひらかれた看取りをすべての人と ～映画と音楽の集い～

2018年12月8日～9日、朱鷺メッセにて第42回日本死の臨床研究会年次大会
『ひらかれた看取りをすべての人と～「いのち」と「死」を見つめて～』が開催されます。

そのプレ企画として1日目に山崎章郎氏による「病院で死ぬということ」

映画上映&トークイベントとサイン会を行います。

また2日目に青島広志氏によるピアノ音楽イベントを開催いたします。

入場は無料ですので、多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。



プレ企画は
入場無料

どなた様もご自由
にご参加頂けます。

会期 2018年 **10月6日(土)・7日(日)**

会場 **新潟日報メディアシップ
2F日報ホール**



山崎 章郎 氏

10月6日(土) 午後 開場 /12:30 開演 /13:00-16:00

映画上映: 「**病院で死ぬということ**」
&対談 監督/脚本 市川準 原作/山崎章郎

10月7日(日) 午後 開場 /13:30 開演 /14:00-15:30

死の臨床をテーマにピアノ演奏&トーク

両日開催 時間 /10:00-16:30

展示会(年次大会に出展予定の写真、絵画、書、詩歌など)



青島 広志 氏

写真提供: Gakken Plus

【共催】公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 【後援】新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、新潟県医師会、新潟市医師会、新潟県看護協会

第**42**回 **JARD** 2018
日本死の臨床研究会 年次大会

本大会開催日 **12月8日(土)・9日(日)**

会場: **朱鷺メッセ** 新潟コンベンションセンター
(新潟県新潟市中央区万代島 6-1)

<http://admedic.jp/jard42/>

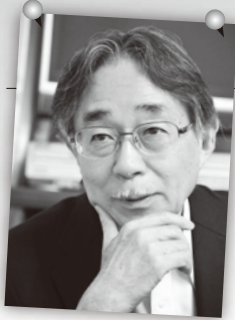
お問
合せ

第42回日本死の臨床研究会年次大会運営事務局
株式会社 アド・メディック
〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310
TEL: 025-282-7035 (受付時間 9:00~17:00、土・日・祝日は除く)
FAX: 025-282-7048
E-mail: jard42@admedic.jp



講師紹介

10月6日(土) 午後 開場 /12:30 開演 /13:00-16:00



山崎 章郎 氏 (ケアタウン小平クリニック 映画「病院で死ぬということ」原作者)

1990年に出版された「病院で死ぬということ」(文春文庫)は、1993年7月、「禁煙パイポ」や「金鳥ゴン」などのTV・CMで活躍していた、市川準監督によって映画化されました。市川監督は映画化するにあたって「死を描きながら、生きていたことが素晴らしかったという視点、死が欠落感とか喪失感ではなくて、死によって生きてきた充実感を感じる視点を持ちたいと思った」(市川準オフィシャルサイトより引用)と述べています。これは原作者である私が意図したことと同じでした。

この映画は、第48回毎日映画コンクール監督賞、第3回日本映画批評家大賞作品賞を受賞、1993年キネマ旬報日本映画ベスト3に選ばれています。また1995年にはオルレアン映画祭日本映画ビエンナーレグランプリも受賞した映画です。古い映画ですが、皆様、是非ご覧ください。

10月7日(日) 午後 開場 /13:30 開演 /14:00-15:30



青島 広志 氏 (作曲家 ピアニスト)

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程を首席で修了し、修了作品のオペラ「黄金の国」(原作:遠藤周作)が大図書館に購入され、過去2回の東京都芸術フェスティバル主催公演となる。作曲家としては「火の鳥」(原作:手塚治虫)、「黒蜥蜴」(原作:三島由紀夫)、管弦楽曲「その後のピーターと狼」、合唱曲「マザーグースの歌」、ミュージカル「11びきのネコ」など、その作品は200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を超え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。NHK「ゆかいなコンサート」の初代監督を8年務め、現在もNHKラジオ「みんなのコーラス」「高校音楽講座」にレギュラー出演のほか、テレビ朝日「題名のない音楽会」、日本テレビ「世界一受けたい授業」、テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」、TBSラジオ「子ども電話相談室」にも出演。

著書に『モーツァルトに会いたくて』『青島広志でございます!』『あなたも弾ける!ピアノ曲ガイド』(学研プラス)、『やさしくわかる楽典』(日本実業出版社)、『作曲ノススメ』(音楽之友社)、『21世紀子どもクラシック』(全5巻・小学館)、『音楽家ってフシギ』(東京書籍)、『オペラ作曲家によるヘンなおペラ超入門』『作曲家の発想術』(ともに講談社)などがある。

東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授、日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。

第42回日本死の臨床研究会年次大会に市民の方もご参加頂けます。

テーマ:ひらかれた看取りをすべての人と～「いのち」と「死」を見つめて～

会期:2018年12月8日(土)・9日(日)
会場:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

参加費:市民パス:3,000円 ※市民パスで参加できる会場、プログラムには限りがございます。

参加費のお支払は、プレ企画会期中(10月6日・7日)に前売り、または12月8日・9日の本番日に当日現金にて承ります。

【お問合せ先】

運営事務局:株式会社アド・メディック

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野 310

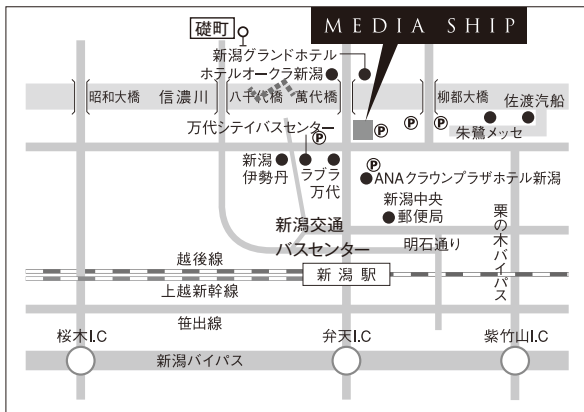
TEL:025-282-7035 FAX:025-282-7048

E-mail:jard42@admedic.jp



アクセス

会場:新潟日報 メディアシップ2階 「日報ホール」 〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1



Ⓧ 有料駐車場

●新潟駅から【新潟駅万代口より】

タクシー 約5分

徒歩 約10分

●新潟空港から

バス利用 約25分

タクシー 約15分

●お車でお越しの方

【北陸・関越自動車道よりお越しの場合】

新潟西ICより新新バイパス・桜木IC経由(約20分)

【磐越自動車道よりお越しの場合】

新潟中央ICより新新バイパス・桜木IC経由(約20分)

メディアシップ駐車場について

メディアシップの北側(旧ハローワーク側) 3・4階

時間貸し駐車料金/30分220円 台数/71台

※月極駐車スペースに一般の方は駐車出来ません。現地の表記にご確認ください。